

宛先：中東カルテットの加盟政府

題名：C地区とガザ地区での深刻な状況に対処するよう要請します。

私たちは、被占領地パレスチナ(ヨルダン川西岸地区とガザ地区)とイスラエルで活動する支援団体として、C地区で現在進行中の家屋破壊と強制移住、およびガザ地区の封鎖継続を引き続き深く憂慮しています。私たちは、貴政府が、開催の予定されているカルテットの次回会合において、ヨルダン川西岸地区での建設許可・都市計画の権利がパレスチナ人に移譲され、2005年に締結された「ガザ地区内の移動とアクセスに関する合意」が完全に実行されるよう強く要請します。

カルテットはすでに39回、入植地の拡大および「和平交渉の結果をあらかじめ決めてしまう」ような全ての行為に対して非難声明を出してきました。それにもかかわらず、イスラエル入植地の建設とパレスチナ人に対する家屋破壊・強制移住は、これまでにない速度で進んでいます。過去6ヶ月の間にも、イスラエル当局がC地区のパレスチナ人に対して押しつけた、差別的な建設許可と都市計画の制度によって移住を強いられたパレスチナ人の数が増加しました。

さらに、ガザ地区の住民の70%は支援に頼って生きています。2010年6月と12月に、イスラエル政府はガザ地区からの物資の搬入・搬出を「緩和する」と約束しました。しかしながら、2012年にガザ地区から輸出された製品の量は、月平均でトラック20台分に過ぎません。また輸入量についても、封鎖が始まる前の4割に留まっています。以上の理由から私たちは、カルテットに対し、国際連盟安全保障理事会の決議1860号を遵守し、イスラエル政府が「移動とアクセスに関する合意」(2005年)に基づいて直ちにガザ地区の越境ポイントを継続的に開放するよう圧力をかけることを要請します。

私たちは、イスラエルの正当な安全保障へのカルテットの懸念を引き続き共有しながらも、ガザ地区の封鎖、入植地の拡大、C地区での家屋・学校・貯水タンクの破壊は国際法に違反する行為であり、イスラエル人にもパレスチナ人にも長期的な安全と繁栄をもたらすことはないと考えます。よって私たちは、カルテットがガザ地区とC地区に代表団を派遣し、イスラエル政府が過去にした約束と国際法のもとで要求される義務を全て実施しているかどうか監視・報告することを歓迎します。これは、陸海空に及ぶガザ地区の封鎖を終了させる具体的な行動計画への合意の土台となり、C地区での差別的でない建設許可・都市計画機構の実現を確かなものにします。

◆署名団体一覧

ActionAid

Amnesty International

Broederlijk Delen

Care International

Caritas Jerusalem

Comet- ME

Danish Church Aid (DCA)

Diakonia

Ecumenical Accompaniment Programme in Palestine and Israel (EAPPI),

World Council of Churches

EWASH

GVC (Gruppo di Volontariato Civile)

HelpAge International

Human Rights Watch (HRW)

Japan International Volunteer Center (JVC)

Islamic Relief
Kvinna till Kvinna Foundation
MAP UK
medico international
Norwegian Church Aid (NCA)
Norwegian People's Aid (NPA)
Oxfam
Polish Humanitarian Action (PAH)
Prèmiere Urgence-Aide Médicale Internationale
SEBA
The Swedish Cooperative Centre (SCC)
Terre des Hommes Italia (TdH)
The Carter Center
The Overseas NGO
War Child
World Vision Jerusalem-West Bank-Gaza